

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。 毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、積極的なチャペル参加と感想の作成を促し、自らの考えをまとめる機会を作った。 今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.4ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.2ポイント、到達度自己評価全体として平均4.0であった。トータルの成績の平均値は約80%以上、チャペルの出席率約90%以上と、チャペルの感想やクラスポートフォリオなどから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。 キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義と、実際に自ら聖書を開くなどのアクティブラーニングの他、チャペル視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的に妥当であっただろう。今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に教え、学生の生活につながる学びの視点を大切にしたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、わかりやすい説明を心がけており、(1)は4.4、(2)は4.4ポイント、(3)「説明は理解しやすいものであった」は4.5ポイント、(4)「学生の参加の機会」は4.3ポイント、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は4.1ポイントであった。引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを体験的に深められるような機会を提供していきたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナー	1	前期	必修	はい	31

2. 観点・D P上の位置

該当に○	知識理解（D P 1）	思考判断（D P 2）	意欲関心（D P 3）	態度（D P 4）	技能表現（D P 5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・主な受講動機は次の通り。①必修科目である100%、②資格取得に必要である35.5%、③関心のある内容である32.3%、④単位数を確保する41.9%、⑤G P Aをあげる16.1%、⑥友人が履修している25.8%、⑧教員に勧められた6.5%。 ・学科における必修科目である。一般教育科目の中の初年次教育に位置づけられる。 ・シラバスに沿って、主として演習形式で進化した。 ・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（D P 1）	思考判断（D P 2）	意欲関心（D P 3）	態度（D P 4）	技能表現（D P 5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・前期試験を経ての成績評価は、平均91点／100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.6で最も高いスコアであった。 （2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。 （8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。 （9）職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学科のDPの知識理解（DP1）、態度（DP4）を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.4～4.7であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。 ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。 ・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役立った。さらなる利用の促進を図りたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。 ・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期(後期)	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。また、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は80.7点（S-21人、A-7人、B-8人、C-13人）である。半数以上の学生がSまたはAを取得していることから、目標はやや達成できたと考えている。しかしながら、小テストの得点を見てみると60点を下回る学生もいた。2年次の授業では体を動かす機会が少なく、健康や運動に対して意識が薄れていると考えられるので、実習指導や講義においても健康等について引き続き指導していく必要があると思われる。また、運動量等の計算では、より丁寧な説明が必要であると感じた。授業評価アンケート「学習量の評価」では「授業中にノートを取ったりして理解できた」という意見が聞かれた。また、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、「食べるもの、運動量など気にするようになった」「基礎代謝量などについて調べた」という意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で平均点が4.2点となっており、多くの学生が知識を得たと考えている。また、「自分の健康について見直すことができた」という意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを引き続き検討していきたい。また、図書館やインターネットなどを利用できるような講義内容も検討していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的はやや達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
女性とマナー	1	前期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・実習や就職にあたり、職場だけでなく地域社会で生活する上でも必要となるマナーについて学び、学んだことが身について自然に振舞えるようになることを目指した。 ・授業内容としては、コミュニケーションや人材コンサルティングを専門としている内外の講師を招き、ロールプレイやディスカッションを取り入れたアクティブラーニングが展開できるように配慮した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・毎回出される課題に対して、グループで話し合って他者の視点も取り入れながら、自分の意見を構築して発表することができていたと思われる。 ・疑問点についても分からないままにせず、積極的に質問して解決していく姿勢があった。 ・最終的に実習先の園にお礼状を出す想定での課題を出したが、ほとんどの学生が実習をイメージしながら、感謝の気持ちをもって学んだことを今後に活かそうとする内容のお礼状を書くことができており、評価は全員が90点以上を取得できた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本授業は、一般教養科目の「女性と健康」の1単位の授業である。 ・実習や就職、また地域社会で他者と協働しながら生活する上で必要なマナーを学ぶ内容で、マナーやコミュニケーションについて専門とする講師を中心に講義・演習を行った。 ・今後の実習等で活かせる内容について学ぶことができており、内容的妥当性に問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・内外の講師の方をお願いする部分が大きかったので、授業内容については、保育現場での実習や就職につながることを十分に説明し、それに応じた内容の講義をしていただけるように打ち合わせを行った。 ・一部行き違いがあったが、来年度はさらに細かく打ち合わせを行い、学生にとって必要な内容が身につくように心掛けたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・講義や演習・グループワークも行いながら、学生が実習・就職等にあたり、必要な内容を楽しく学ぶことができたと思われる。 ・行き違いが生じることがないように、事前の打ち合わせを細かく行うことを心掛けたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	2	前期	選択		8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、漫画やアニメ、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどを新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心をもち、自分の考えを述べることを加えた。全体の回数が少ないため、やや欠席が多い学生の場合は自身の考えを文書にまとめるまでに到達していなかった。新聞作成においては、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それを実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、関心の高いテーマ（例えばLGBTなど）へは考察が深いが、より多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉える力が不十分な学生も見受けられた。一方では、グループ討議などで他者の意見を聞くことで、おおむね新たな気づきにつながっていたと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業を対面で実施し、グループ討議がより活発に行われた。自分自身の意見を述べることや他者の意見を聴くことに、楽しさを見出していた。特に、学科を超えてグループを作ったので、通常では話せない学生同士で思わず深い話ができただった場合もあった。一方的な講義より、理解が深まったものと思われる。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。ただし、少人数であったことから発言する学生が固定化する傾向があり、講師が介入して、発言を促すこともあった。次年度においては、話し合いのルールを毎回徹底する必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。根強く残る意識を知識で見直し、ジェンダー意識の解消に結びつけることが困難な学生もいた。身近な問題を政治や経済と関連する理解へと結びつけることは、継続的な課題である。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	2	前期	選択	いいえ	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・主な受講動機は次の通り。①必修科目である51.4%、②資格取得に必要なものである48.6%、③関心のある内容である28.6%、④単位数を確保する48.6%、⑤GPAをあげる8.6%、⑥友人が履修している5.7%。 ・学科における選択科目である。一般教育科目の中のアカデミックスキルに位置づけられる。 ・初学者の受講を想定して学習プリントの用意をした。 ・シラバスに沿って、主として講義形式で進行した。 ・質疑応答を多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・前期試験を経ての成績評価は、平均84点／100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.9で最も高いスコアであった。 （1）自分なりの目標を達成した （2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた （5）自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた （7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた （9）職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も低いスコアであった。 （8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学科のDPの知識理解（DP1）、技能表現（DP5）を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.6～4.2であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。 ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。 ・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役だった。さらなる利用の促進を図りたい。"
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。 ・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理入門	2	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・主な受講動機は次の通り。①必修科目である38.5%、②資格取得に必要なものである42.3%、③関心のある内容である42.3%、④単位数を確保する53.8%、⑤GPAをあげる15.4%、⑥友人が履修している19.4%、⑧教員に勧められた3.8%。 ・学科における選択科目である。一般教育科目の中のアカデミックスキルに位置づけられる。 ・初学者の受講を想定して学習プリントの用意をした。 ・シラバスに沿って、主として講義形式で進行した。 ・質疑応答を多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・前期試験を経ての成績評価は、平均83点／100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.7で最も高いスコアであった。 （2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.9で最も低いスコアであった。 （9）職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学科のDPの知識理解（DP1）、技能表現（DP5）を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.6～4.5であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。 ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。 ・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役だった。さらなる利用の促進を図りたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。 ・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」64.5%、「単位数を確保する」38.7%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。 ②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。その項目から受講動機、韓国語学習経験、知りたい事を把握した。③各課に文字読み取りテスト、単語テスト、挨拶テスト、自己紹介テスト、会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④昨年度に示した改選計画では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「どのようなことをしたらいいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は89.1点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、28名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては82.6%、機能表現は91.6%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献、画像等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するように心掛けた。 ・これから保育者を目指す1年前期の段階で、子どもや保育者の姿をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り混ぜながら、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解・態度について説明することを重視した。 ・今年度も全面的に対面授業ができたので、学生との、また学生同士での双方向のやり取りを心掛けて授業を進めた。 ・オリエンテーション後の授業でそれぞれ学生が考えている望ましい保育者像や子どもの姿について課題を出し、それを集計したデータをもとに望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。また、オリエンテーション後の授業と最終回の授業で同じ課題を出してその内容を比較することで、自らの学びを振り返り、深めることができたようにした。 ・毎回、授業開始時に前回の授業内容の振り返り時間を取り、授業終了時には、次回の予定を伝えて予習・復習ができるように配慮した。 ・今年度も学んだ内容の定着を図るために持ち込み不可で定期テストを行い、内容理解の確認を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	やや達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・全体を通しての成績は82.0（±7.0）であった。総合評価として学生の多くがS又はA評価のレベルであった。 ・重要なポイントを押さえながら授業を行い、定期テストは平均値が86.2点（±5.3）で、知識理解は概ね達成されたと考える。定期テストの得点が低い学生が数名いたので、今後の課題として学生への個別指導についても検討していきたい。 ・学修態度としては出席状況は非常に良好で、主体的に授業に参加し、意見を述べる学生が多かった。指名すれば適切な内容を答えたが、自主的に発表することをためらう学生が数名いた。 ・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせて、レジュメを配布することで予習・復習を促してきた。それぞれの学生なりのやり方でテキストやレジュメを使って予習・復習することができていたようである。特に定期テスト前には授業内容の確認学習もできていたようで、定期テストの結果より概ね知的理解はできていたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、「専門教育科目」の「教育に関する科目」「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、主体的に授業に臨む姿が見られた。 ・授業アンケートの自由記述での回答からも、現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説することで、より興味・関心をもって説明を聞き、望ましい保育者像をイメージすることができていたように思われる。 ・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながら、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。今年度もこれまでの経験を活かして意見交換の時間を多くもったことで、自発的に意見交換を行うことができ、他者の意見も取り入れることで学びがさらに深まったと思われる。 ・オリエンテーション後の授業と最終回の授業で「望ましい保育者像」について課題を出し、内容と比較しながら授業での学びを振り返る機会を作ったことで、それぞれ自分の学びを実感できたと考える。しかしまだ”他者との関係に配慮した自己表現ができる”という部分では十分とは言えないので、引き続き発表場面を増やすなどの工夫をしていきたい。 ・授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、レジュメを配布することで予習・復習を促したことで、それぞれの学生なりの方法で予習・復習に取り組めたようである。主体的な学びを引き出せるように、さらに具体的な課題の提示に留意していきたい。 ・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、さらに他者との関係に配慮した自己表現ができるように、また学生の主体的な学びを促すように授業内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	*卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。 *授業への目標が持ちやすいよう、保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても、事前に2回の小テストを行い、通信環境の確認や出題傾向や問題は分かるようにしておき復習がやりやすいように心がけた。 *授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイディアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	*全体の成績は平均が83.7と非常に高く、最高得点が98点、最低点でも71点で、78%の学生が秀と優の成績を収めている。再試験該当者は無かった。授業評価アンケートにおいても、「自分なりの目標を達成した」平均4.4で、「そうでないと思う」「少しそうでないと思う」が0名となっている。また「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均4.7と、DP1の「知識理解」が十分に達成されていることが分かる。成績評価と学生の自己評価を合わせても、授業目的は達成されたと評価する。 *授業に対して、本試験に向けた小テストを授業内に2回実施した。学生にとっては学習のポイントを押さえることができたようで復習する機会となったようである。また、穴埋め式プリントにより覚えるべき用語や概念をまとめていたためプリントの読み返して十分に復習はできたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	入学直後の1年前期に配置される、基礎となる用語や概念の習得、子ども理解を学ぶ内容であるが、カリキュラムツリーの位置づけとして十分に妥当であることを示した結果となった。 DP、行動目標に置ける内容的妥当性についても、十分に確保されていると思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価について、全ての項目が4.4～4.7と高い評価を得ることができた。パワーポイント資料の作成には視覚的に分かりやすい工夫をこらした。 ただ、課題以外の自己学習に取り組んだ学生が全体の3分の1と少なく、「授業で理解した」「時間が無かった」等の意見はあるが「取り組み方が分からなかった」という意見もあるため、学生の関心をより広げられるような授業内容での提示が必要であることは今後の課題である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	原理系科目はどうしても学生にとって堅苦しい内容であるため、工夫を行い、分かりやすく説明することを心がけたため授業の質は保証できたと考える。 学生の自己学習に対する意欲を十分に引き出せなかったので、来年度は課題意識を持てるような内容と説明を心がけたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。情報量がかなり多い授業内容であったが、一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。オンライン授業だったためにパワーポイント資料を準備した。また話のポイントが押さえられるようレジュメプリントを「穴埋め方式」にして書き込みができるよう工夫をし、また最終的にプリント提出を評価対象とした。日々の学習課題は簡潔にまとめられ、その日の学習内容が振り返られるテーマを課した。期末試験に備えられるよう小テストを2回行った。期末試験については試験勉強で備えられるよう問題を予告するなど行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		やや達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終の成績評価の平均は76.1と高い結果となった。欠席による再試験者がいたが、成績による再試験該当者はいなかった。 期末試験は授業範囲から満遍なく出題し、全ての内容において十分な理解を求めるものであったが、特に選択問題での正答率が高かった。学習内容の復習として小テストの振り返りを十分に行うよう伝えていたためと考える。 また授業評価アンケートでも学生の自己評価として「自分なりの目標を達成した」4.0、「知識を得た」4.3であったため、DP1は「達成された」としたい。 またDP3に関して、自発的学習に取り組んだ学生は30%と少なく、その授業の課題外の取り組みについても、こちらが示した小テストの振り返りや復習に留まっており、意欲や関心は引き出せたとしても自発的学習を深化させることは難しいととらえる。そのため「やや達成された」と評価したい。また「他の課題で忙しい」「時間が無い」と回答する学生も多く、2年生前期は他科目の課題も多い時期であるが、適切な課題設定の必要性が今後の課題と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業評価アンケートの「授業の質評価」について、平均が4.1～4.2と高い数値を得ることができた。 これまでの課題であった「発表するなどの学生が参加する機会」については4.1と向上した。 配付資料についても、穴埋めプリントを使用した。1年次に比べてこの科目では細かな情報を紙面に盛り込まれているが、PPで視覚的効率的に理解を促す、という授業方法で進化した。そのため、多少授業内容が難しくてもキーワード等が理解できるように配慮したため、成績評価では十分に得点を得られたと考える。 学生の自発的な学習を進めるためにも、次年度は自発的にノートを別途準備するよう指導を行いたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	DPについては「達成した」との評価で、授業内容や進行的方法については概ね問題なかったと考える。授業内容については、例年とほぼ同じ内容であるが、学生の学習意欲が十分に高まらなかった結果となった。授業を計画的に欠席し、例年に無く欠席回数がギリギリの学生も多かった。学年が上がる際に、幼稚園教諭免許取得を断念した学生が多かったこととも関連しているが、保育を学ぶ事へのモチベーションが低下した学生の学習意欲を授業を通してどのように高めていけるかが課題かと思われる。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は保育士資格習得の必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など、社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護への意欲関心を高めるとともに、社会的養護の実践を具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いた授業展開を心掛けた。学生の学習状況を把握するため、適宜小テストを行い、授業理解度の低い学生については必要に応じて個別対応を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均77.2点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.2点（かなりそうだと思う23.5％、わりにそうだと思う70.5％、まあまあそうだと思う14.2％）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「（2）知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3点、「（3）事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられている。授業評価アンケートの結果からもほとんどの学生が資格取得のための必修科目であることを理解しているため、受講に対する意欲は高い。学生の自己評価における知識理解、意欲関心に関する項目ですべての学生が肯定的な評価をしていること、成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題は無いと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度も学期を通して対面形式で実施した。学修準備性を高めることを目的に、単元ごとの小テストの実施と予習プリントの配布を行ったが、学習量の評価をみると課題を残す結果であった。学生の自由記述では「家に帰ってから、配布されたプリントを見返しました」、「授業の内容をまとめた」などのコメントもみられるが、数値からは継続的に予復習に取り組んだ学生は25～30％程度であることがうかがえる。この点について、今後も配布プリントの内容を見直し改善をすることで予復習の定着を図っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の教育目標は達成できたと考える。本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目である。学生の受講意欲や興味関心を高めることが出来るよう、授業改善にむけた取り組みを行っていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学	1	前期	必修		31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムツリーを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。 受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。 講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	やや達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は79.3点（最高点94点、最低点64点）である。本学年は再試験該当者がおらず、全員が授業において、一定の水準に到達することができたと考えられる。授業評価では、授業の復習を個人や友人と行っている学生や、授業を基に関連する情報を調べている学生も見られた。 当該科目は、授業の要点を要約しながらまとめる力を育むために、授業ノートも評価の一環として取り入れているが、学生によりこれらの質には差があることがうかがえる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所（必修）、保育士資格（必修）の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。 DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。 以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。個人ワークののち、グループワークを取り入れて発言しやすい状況を作ったり、発言を促す際は少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、意欲が高められるように配慮した。また、個々人が事例検討を深められるように各自がゆっくり考えられる時間を確保した。授業時は配布資料に加え、口頭説明もかなりの分量になるが、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、授業の目標はやや達成できたと考えられる。本科目は、保育の道を志した学生が保育者としての視点を学ぶ科目であると考える。また、これから2年間かけて形成されていく学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っているため、授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。また、授業ノートに関しては、定期試験時に回収し評価しているが、中間で作成のポイントを抑える等の工夫を行っていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	「保育内容総論」の開講にあたって、小学校以降の教育と就学前教育（保育）との違いをまず押さえました。その上で、就学前教育の特徴とその後の教育に続く重要な基盤であることを意識して伝えました。具体的には、幼稚園・保育所・認定こども園における生活と遊び・活動の場面で、どう子どもたちが育まれているのかを事例を示して説明し、保育内容（活動）は領域を一つずつ取り出すものではなく、総合的に捉える考え方を示しました。保育内容は、まず目の前の子どもの姿から始まり、その子どもたちの姿に沿ったねらいを立て、そのねらいを達成すべく「保育内容」を一つの領域に偏ることなく、総合的に考えていきます。その考え方が、子どもたちの成長発達を支えているのだということを解説しました。今年度は、対面での授業で表情を読み取りながら、理解が難しそうな事例に関しては、何度も説明するなど、少しずつ授業を進められたのは授業に集中できた証だと思われます。8回目の授業で1回目のテキスト持込みのミニテスト、15回目に2回目のテキスト持込みのミニテストを実施しましたが、Aクラスの平均値が92.8点、Bクラスの平均値が85.6点と高得点を示し、授業内において重要ポイントを理解していることがうかがえました。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	試験結果から、全体を通してかなり理解をしているものと思われる。学生評価の到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目で高得点を示しており、知識を確認したり、新たに得ることができたと思う学生が多かったと推測できます。技能表現に関しては、今後実習に行き、学んだことを確認して欲しいと期待しています。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	「受講動機」に関しては、「必須科目である」の理由が最も多く、「資格取得に必要である」が2番目に多いことから、資格取得を考えていない学生も受講していることがうかがえました。しかし、到達度自己評価において「職業選択の参考になった」の平均値も高く、これは、保育現場の事例を語ったことでより保育に対する理解が深まり、興味関心が高まったのでないかと考えられます。今後、授業としての「保育内容総論」の重要性をより認識するのは、実習に出かけていったり、保育現場に就職し、子どもを目の前にして保育を考える時なのだろうと推察し、この段階での内容は妥当であったと思われます。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	それぞれが授業に集中できるように、授業の合い間に学生同士のバズセッションを入れたり、ワークをしたりしながら、主体的に思考を整えられるように進めてきました。映像や動画といった視覚情報が必要な部分もあったかとも考えられますが、テキスト上の写真や現場における事例の言葉での説明で、保育への理解が深まり、イメージは拡がり、授業の質は悪くなかったのではないかと思います。学習量の評価で「何をしたらよいかわからなかった」という自由記述がありますが、授業内に「家庭学習」として課題を出したことは「学習量」に繋がっていないのだろうかと推察します。この点に関しては、これまで以上に工夫していきたいと思います。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	「保育内容総論」の授業における「知識の習得」や「理解」は、かなり評価できると考えられますが、学生の「予復習時間の確保」や「自発的学習」について、自覚を促す「具体的課題」や「興味喚起」が教える側の課題であると思われます。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	菅原 航平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子育て支援	2	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	子育て支援・保護者支援は保育実習などでも直接経験することはほとんどなく支援をイメージすることができない学生が多いため、教材として事例や実習園や自身の居住地町村の取り組みの調べ学習などをできるだけ多く用いて、学生が実際の場面をイメージしながら子育て支援が保育者の重要な役割のひとつであることを理解できるようになることを目指している。 今年度は担当初年次であったため、学生の既有知識や経験、興味関心を理解し、講義内容に反映できるように心がけた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は、S評価7名、A評価17名、B評価15名、C評価10名であり、再試対象者が5名であった。到達目標のルーブリックによる自己評価では全体の約15%が発展的な内容の理解に達しており、約55%が標準的な理解に達していた。また、保育士国家試験をもとにしたテストでは77%の受講者が国家試験合格レベルに達していた。しかし、各種評価などから約2割の受講者は最低限の理解にとどまっているようであった。 学生による授業評価では、おおむね保育学科の演習科目の平均と同様であったが、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目については若干低くなっていた。グループでの話し合い活動などは多く取り入れていたが、プレゼンテーションなど全体で発表の機会は多くなかったため、次年度は他の受講者への説明の機会などを多く設けるように改善したい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」のうち「保育の内容・方法に関する科目」であり、1年次の学修や本科目と同じく2年次前期に開講されている子ども家庭支援論の内容とも関連付けながら演習として学修を深めていく科目であり、CP、カリキュラムマップの位置づけを踏まえて内容は妥当であったと考える。 DPにおいてもおおむね妥当であったと考えるが、「DP4【態度】4・1) 保育者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる」の倫理に基づく行動の部分を次年度はさらに意識して授業を実施したい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質の評価においては、「(4) 授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の評価が学科の演習科目の平均値より高くなっていたので、次年度も引き続き学生参加の機会を多く取るように意識したい。「(3) 説明は理解しやすいものであった」の項目が平均値よりも低くなっていたため次年度は説明内容や資料を見直して、理解度が向上するように努めたい。 学習量の評価では、週に1回以上予習・復習を行った受講者の割合が平均よりも15%程度低く、課題以外の学習に取り組まなかった理由として一番多かったのは「他の課題が忙しかった」などというものであったが、それに次いで「何をすればいいか分からなかった」という記述が多くなっていたので、教科書の授業に対応する部分の説明などは行っていたが、さらに予習・復習の内容例を示したり、取り組んだ内容として「実習先の園の取り組みを調べた」などの記述もあり、学外実習など学生のモチベーションと繋がるような工夫をするなど授業時間外の学習を促す工夫を行っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	今年度は担当初年次であったため、学生の既有知識や経験、興味関心の理解が不十分な点もあったが、多くの学生の積極的な授業参加に支えられ、おおむね授業の目的は達成できたと考える。成績評価や自己評価で1～2割程度の学生の学修が最低限の内容にとどまっていた部分もあったので、今年度の授業評価などを踏まえて次年度は底上げができるよう改善していきたい。特に時間外学習の促進のための学習内容の例示、説明内容の改善、プレゼンテーション等の発表機会の増加などの改善に努めたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。 ・1年次の乳児保育Ⅰでの講義と保育実習Ⅰでの保育実践を受けての授業であるため、実習での疑問点や課題等についても検討していきながら、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように、実際に人形や玩具等を用いた演習を取り入れて授業を行った。教員が実践モデルを示すことにより、関わり方をイメージできるように心掛けた。 ・子どもの個人差を踏まえながら月齢を追って発達の姿について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえて解説をしながら演習を行い、保育現場に出ることを想定して各年齢ごとの指導計画を課題とした。それを現場で役立てられるように留意しながら添削することで、実践力につなげた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された			やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・トータルでの評価は81.4点（±11.3）で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考えるが、達成度合いのばらつきが大きく、適切な指導計画の作成等では今一つと思われる学生もいた。 ・今年度も全面的に対面授業ができたので、子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現において、実際に学生に実践させて意見を述べ合うことができたため、学生同士で意見交換をする中で色々な視点や考え方を学ぶことができたと思われる。 ・小グループでのグループワークでは、回を重ねるごとに意見が出るようになっていった。しかし指名をすれば意見を出せるが、積極的に発言することを躊躇する学生もおり、学生同士の積極的なディスカッションとしては十分とはいい難かった。 ・レジュメに従って授業を進め、指導計画の作成と検討を行ったことで思考判断の力の定着を図った。特に現場での事例を多く取り入れたことで子どもとの関わりをイメージしやすくなり、それが適切な指導計画の作成に反映されたと思われる。 ・授業内で出した課題については学習の効果が感じられたものの、授業の課題以外の学習については、「どのように取り組めばよいのか分からなかった」とアンケートに記述した学生が複数名おり、予習・復習をすることが十分できていたとはいえなかった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて積極的に授業に臨む姿が見られた。 ・乳児保育Ⅰでの学びに、保育所実習Ⅰでの実践の体験を受けて本授業を行ったことで、知識理解に加えて思考判断の力が深まったと考える。また担任の実践デモンストレーションを見たり、指導計画を立てて検討したりすることで、技能表現の力も加わり、保育所実習Ⅱ、Ⅲでの実践力につながっていったと思われる。 ・現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説したことより具体的な理解ができたのではないかとと思われる。 ・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・テキストを用いた解説に加え、具体的な乳児のイメージがもてるように画像が載ったテキストやパワーポイントを活用するとともに、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けた。 ・今年度も完全に対面授業になったため、事例に基づいたロールプレイも多くを取り入れ、学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫した。2月の保育実習を経験したことを受け、8月に再度保育実習に行くことを想定して、ロールプレイではそれぞれの学生が子どもの姿をイメージしながら考えたことを発表することができていた。 ・次回の授業内容を知らせて予習を促し、指導計画の作成の課題を出したが、授業アンケートの結果を見ると授業の課題以外の学習にはつながっていないようであった。さらに授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。 ・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。また指導計画の作成が実習現場で役立ったとの学生の意見が多く聞かれた。指導計画の作成と検討については継続していきたい。 ・さらに実習や現場での乳幼児との関わりを実感できるような内容を工夫し、学生とのやり取りを重視しながら主体的な学びを促していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 1年次前期の科目であるため、今後音楽活動をしていく上でまずは音楽の基礎的な内容を学ぶことは大切である。これまでの音楽経験から既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生と様々な経験値の学生がいるため、單元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。 また、6つの段階に分けたソルフェージュ教材を準備し、毎回の授業後半に取り組むことでリズム感や基本的な発声について演習を通して理解が深まるようにした。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均88.9点である。（最高100点、最低60点、S-14人、A-15人、B-2人、C-1人、D-0人）である。 到達度自己評価の平均値は、「全般的評価」4.5、「知識理解」が4.4、「技能表現」4.5となっており、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。 知識理解については、單元ごとに小テストや課題を設ける際に復習箇所を明確に示していたため理解を深めることにつながったと考える。技能表現についても、独自のプリントを作成することで、授業内だけでなく「リズム打ちの練習をした」という自由記述が複数みられた。 以上のことにより、目標は達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため学生の受講意欲も比較的高い。 DPに関しても、「到達度自己評価」の「知識・理解」、「技能・表現」の両方において、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からも現段階での課題は達成できていると考える。 以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業内で取り組む範囲や小テスト等を具体的に伝えてきたため、「授業の質評価」での平均値は4.4～4.6で、全てにおいて「まあまあそうだと思う」以上の回答がみられた。 音楽の経験が少ない学生にとって内容が難しいところもあるため、適宜授業内で机間巡視を行うことで学生が質問する機会を設けるよう努めた。また、今年度はパワーポイントを使用して授業を進めることができたため、学生が理解しやすい資料の提示・説明を心がけるだけでなく、板書時間が減ることにより個々の学生の状況をみながら進めていくよう配慮した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。これまでの音楽経験から音楽的知識が全くない学生もよりスムーズに理解を深めるだけでなく、実践に活かしていくことができるよう授業展開を図っていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目の受講対象者は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目であることから、全ての学生が受講している。開講時期が1年生前期ということもあって、保育者が福祉を学ぶ必要性を理解できずにいる学生も少なくない。そこで、保育者が福祉を学ぶ意義等について繰り返し説明するなどして、受講の動機づけを行うよう心掛けている。また、学生の学修準備性を高めること、学習状況を確認することを目的に、予習プリントの配布と小テスト実施している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均86.4点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.4点（かなりそうだと思う43.5％、わりにそうだと思う52.2％、まあまあそうだと思う4.3％）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「（2）知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.5点、「（3）事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.4点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.5点であるため、目標は達成されたと判断した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解している（受講動機：「必修科目である」95.7%、「資格取得に必要である」87.0%）ため、受講に対する意欲は高い。学生の自己評価において全ての学生が肯定的評価をしていることや成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題は無いと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業は学期をとおして対面形式で実施した。授業運営にあたっては、学生が可能な限り発言できる機会や主体的に考えることのできる機会を設けるなどして、双方向授業を心掛けた。また、継続的な取り組みとして、予習プリントの配布や単元ごとの小テストを行い学習準備性の向上にも努めており、「授業の質の評価」に関する全ての項目において肯定的な評価を得ることができたのは、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。他方、図書館やインターネットについてはほとんどの学生が利用をしていないため、課題内容の工夫等をおこない改善に努めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価の結果から本科目の学習目標は達成できたと考える。今年度も昨年度同様「達成度自己評価」「授業の質評価」の平均値の上昇がみられた。一方的な授業展開にならないよう、学生に質問を投げかけたり、学生同志で考える時間を設けたりするなど、学生の能動性を高める工夫を取り入れたことが、このような結果につながっているのではないかと考える。また、学修準備性を高めるための取り組みについても、着実に成果につながっているように思われる。今後も引き続き、学生の教育環境を踏まえつつ、教育の質の確保・向上を目指した取り組みを行っていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援論	2	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられており、保育士資格取得のための必修科目である。学生の受講動機は、「必修科目である」が81.5%、「資格取得に必要である」が70.5%、「関心のある内容である」が22.2%と大部分の受講生が資格取得のための必修科目として履修している。授業では、毎回教員が作成したレジュメを配布し、重要なキーワード等を穴埋め方式にすることでポイントが押さえられるよう工夫した。また、講義内容を実践に引き付けて理解することができるように、適宜事例を紹介し、支援方法等を検討する機会を設けた。学生の理解度の把握と予復習を促すため、単元ごとに小テストを実施し、その点数も成績評価の対象とした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	全体の成績は平均83.8点であった。学生の到達度自己評価「（1）自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.1点であり、アンケートに回答したすべての学生が肯定的な評価をしているため、本科目全体での教育目標は達成されたと考える。「意欲関心」は、「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.1点であるため、目標は達成できたと言える。「技能表現」については、「（7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.2点、「（8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が3.9点であることから、目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられる。保育士資格取得の必修科目であることから、学生の受講動機は主に資格取得のためではあるが、授業における課題への取り組み状況や自己評価における「意欲関心」の項目が平均値が4.1点（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う44.4%、まあまあそうだと思う22.2%）を示していることから、本科目での学びを通して学習意欲の高まりがあったことがうかがえる。また、成績評価においても一定程度の成果を得られたことから、内容的妥当性に問題ないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「授業の質の評価」は平均値4.1-4.3点であったことから、授業運営について一定の評価を得ることができたと考える。また全項目において全ての回答者が肯定的な回答をしている。学生の自由記述では「事前に調べてプリントに書いたり予習することができました」、「教科書を読んで予習した」などのコメントが見られる一方で、「何をすれば良いかわからなかった」とのコメントもみられるため、今後も予復習の取り組み課題や取り組み方法を明確化を図っていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 授業の質の向上に向けて、今後も授業評価アンケート結果や成績状況を踏まえ、必要な改善に取り組んでいきたい。また、学生が可能な限り実践的な学びを深めることができるよう教材の修正や改善にも注力していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの理解と援助	2	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得に必要な科目であるため、保育士資格を希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識していない学生も少なからずいる。授業初回にカリキュラムマップを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。 受講学生は1年次に教科や実習の中で乳幼児の発達の様子をある程度理解していると考えられるため、本科目では、実践事例を中心に実際保育者としてどのように子どもを理解し援助すればよいのかが理解できるように授業計画を立てた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は81.0点（最高点96点、最低点43点）であった。評価に際しては定期試験は実施せず、普段の提出物やレポートによって行っているが、提出物の遅れや未提出により点数が伸び悩む学生が複数見られた。 「到達度自己評価」、「授業の質評価」では多くの学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしており。全体を通して目的はやや達成されたのではないかと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、保育士資格（必修）の科目である。受講生は資格を取得する目的を持っているため、比較的受講に対して前向きな学生が多いと考えられる。 また、本科目では、個の対象の理解や集団の理解、それに対する保育者の援助のあり方など、実践事例を中心に読み解いていった。学生が保育者として子どもを援助する際の視点を育むことができたのではないかとと思う。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	実践事例については、学生たちの経験に合わせてなるべく多くの保育観や子ども観と結びついた意見を踏襲していきながら、教師からの事例の分析を中心に授業を展開した。事例検討の結果は全体で共有できる場を設けたが、より幅広い保育の見方や考え方、子どもの姿の見取りができたのではないかとと思う。今後はさらに多くの学生の発言を取り入れることにより、さまざまな保育感に触れる機会が持てるよう授業を進めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、前半は1年次の学びと実習を振り返る形で講義を行い、後半は6月に行われる実習での自身の経験をもとに実践事例を分析していきたい科目である。 保育としての援助を行うためには、子ども理解は必須である。保育者が目の前の子どもや場面をどのように捉えるかによって援助の方法は異なる。これらは理論のみならず実習等の経験を深めていくことが重要であるため、実習後の振り返りをより多く取り入れると同時に、実習を実施していない学生が取り残されないように配慮していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと健康	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの発達や健康課題、生活習慣の形成等を理解することは大切であり、子どもたちが安全で健康的な園生活を過ごすための知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が自らの健康を意識できるように、健康の定義や生活習慣について考えディスカッション等を通して理解が深まるように授業を展開した。また、今後の実習に生かせるように授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は96.5点（Sー31人）である。受講した学生全員がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。受講した学生は、子どもの健康や生活習慣の形成について概ね理解していた。授業評価アンケートでは、「幼児の健康について知ることができた」「知らない知識を今後、調べてみようと思う」という意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみても現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「保育者の親と子どもの健康について話したり、こういう遊びをしたら安全かつ健康的になるだろうと考えた」「幼児期に身につけさせたい36の動きを調べた」という意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	健康を理解するために、まずは学生自身の健康や生活習慣を考え、幼児との違いや発達・特異性などを理解できるように丁寧に説明した。また、子どもが安全で健康的な生活を送るために身体的特徴等を考え、安全管理・安全教育の大切さに気づけるようにした。今後、実習を実施した際に観察するポイントなども説明した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開ができるように検討していく。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	末 崙 雅 美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと環境	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	幼稚園教諭免許と保育士必修科目で全員が履修する。入学後間もない学生が保育の5領域を理解できるよう、できるだけ平易な言葉や表現を用い、もう一つの担当科目「保育原理」の内容と関連付けながら内容理解できるようシラバスを立てた。まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の取り扱い方を学び、5領域に関する他の科目でも活用できるよう工夫した。そのため、学生には学習の予習として、まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の該当箇所を読み込み、どのような内容なのか確認することに加え、復習として穴埋めプリントを用いて振り返り学習ができるようにした。内容理解ができれば、保育における環境構成と子どもの遊びとの関わりについて学べるようにした。自発的活動としての遊びを、環境構成から理解する意義について講義を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された		達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績について、平均点が90.8と非常に高く、全員が秀または優の成績となった。試験の成績も良く、提出物もきちんと提出されていたため高い点数となった。そのため知識理解については十分達成されたといえる。学生の到達度自己評価についても、全ての項目で4.0以上であり、学習の成果が十分得られているととらえられる。また、自由記述では「深く知ることができた」「興味深かったので真剣に取り組んだ」「面白くてためになった」等の意見があり、学生から新たな興味を引き出せたように思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	この科目の位置づけと内容的妥当性については、十分に妥当であると言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価では平均が4.2～4.6と高く、学生には十分受け入れられた内容と方法であると思われる。強いて言えば「授業中に自分の意見をまとめる、話し合うなどの参加する機会」に「少しそうでない」と回答した学生が1名いたため、発言機会などを十分に確保する必要があると考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の学習成績や授業評価アンケート結果から、学習内容も十分にできており教育目標は達成できていると考えられる。次年度の課題については前項に示したとおりである。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと言葉	1	前期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	ただの言葉だけではなく、幼児が、豊かなことばや表現を身に付けるために、あるいは幼児が想像する楽しさを広げるために、「言葉」の指導をするという事を目標にしている。そして言葉は人の心がもとにあってそこから芽生えてくものである、感動する心、思いやる心、慈しむ心、反省する心、協調する心を育てるエキスを満ちた児童文化を基軸に据えて、さらに、幼児の発達の姿と合わせて言葉の教育について講義している。したがって、教材の選択に関してもかなり吟味しながら、絵本、物語、紙芝居等々の力も借りながら、講義を進めていった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	講義を重ねるたびに学生の関心度が増してゆくようで、それは教師冥利に尽きるといった感じであった。また学生は実習体験を通して自身の課題を発見し、それは克服する際にどうしても通らなければならない登竜門のようで、熱が入るようであった。80パーセントは活かされていると思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、良かったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	保育科の学生たちは自身の考えを皆と分かち合うという事を日頃からしているため、講義においても他の学生たちの意見を聞いて学ぶことを好んでいる傾向にある。したがってグループワークの回数を増やしていきたいと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全ての学生が最終講義までには自信をもって達成できるように努力したい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「健康」の指導法	2	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格及び幼稚園教諭免許取得のための必修科目です。授業評価アンケートでの受講生の受講動機が「必修科目である」86.8%「資格取得に必要である」71.1%と回答しているため、科目の位置づけをしっかりと認識できていると読み取れます。 本科目では、できる限り座学ではなく、グループワークやフィールドワーク等、自分自身の身体で覚え、感じ、考えることを大切に授業内容を構成しました。受講生達が一番楽しみにしてくれていた演習は、勝山公園に向向いて、園外保育の実際を学ぶ回でした。残念ながら、当日は雨天であったため、フィールドワークのみとなり、勝山公園での実際のあそびはできませんでした。学外授業は、天候によって授業日を容易に変えることはできないため、ある種カケの様なものですが、フィールドワークだけでも課題プリントの提出物を見ると学びが深かったため、実施してよかったと思っています。今後も、できる限り実践で学ぶ機会を増やしていきたいです。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	本科目の成績評価は、シラバスに示した通りの評価基準に則り採点をしました。その結果、「秀」22名、「優」22名、「良」5名であり、不可はおりません。 授業評価アンケートの結果からも、「到達度自己評価」の「（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は、平均値4.3であり、特に「（6）自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」が平均値4.3、中央値4.5であり、その他全ての項目で平均値が4.1～4.3でした。思っている以上に受講生は関心を高く持って受講してくれていたことが分かり、そのことが成績評価にしっかりと反映できていたと思っています。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	関連する基本知識を学んだあと、2年生前期に本科目が位置付けられていることは、授業内容を考える上でも、効果的でした。また、授業評価アンケートの結果からも本科目のDPが合致していることがわかり、DP,Cp,カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は担保できていると評価します。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館,インターネット利用」学生の意見など	受講生からのコメント等からも、グループワークやフィールドワークは学びが多く、楽しく学べるとの意見が多かったため、今後も実践を取り入れた授業内容を増やしていこうと考えています。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	「外遊び」の内容が本科目には含まれているので、屋外での活動が不可欠になります。そうした場合、天候によって内容や学びが変化してしまうため、工夫の必要性を感じています。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	鷲崎 公彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現」の指導法（造形）	2	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許および保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。その点を配慮して、次の3点に重点を置いた。第1に、全員が標準的レベルに到達し、全員が理想的レベルに挑戦できる「スモールステップ」による授業展開に努めた。第2に、造形表現に関する知識はクイズやなぞなぞ、技能は遊びやゲームを活用した「保育を想定した実践」による授業内容に努めた。第3に、学生一人ひとりを孤立させない「グループワーク（協働制作）」を中心とした制作活動に努めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均85.4点（最高点91点、最低点74点）であり、内訳は秀10名、優38名、良1名、可・不可なしであった。すべての学生が標準的レベル（優、良、可）に到達することができ、全体の20.4％の学生が理想的レベル（秀）に到達することができた。また、学習量の評価においても、授業の準備では全体の51.0％、授業の復習では全体の42.8％の学生が主体的、積極的に授業に取り組んだ。今後も、学生の興味・関心、理解や習熟度を向上することができる授業努力を継続していきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	○CP、カリキュラムマップの位置づけからみた内容的妥当性 全受講学生が標準的レベルに達成し、一定数の学生が理想的レベルに到達することができた点で内容的に妥当であったと考える。また、【担当教員への意見（自由記述）】においても、肯定的なコメントのみであり、否定的なコメントが見受けられない点でも妥当であったと考える。 ○DP、知識理解・技能表現の位置づけからみた内容的妥当性 受講学生の成果物、発表、レポート、授業態度から内容的に妥当であったと考える。 ○まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	実技演習や教材研究などの授業全体を通してグループワーク（協働制作）を多く取り入れたことは【3.授業準備について】でも記述した。その一方で、学生一人ひとりへの対応をより一層丁寧に取り組む必要があると考えられる。また、作品の相互鑑賞など学生間での意見交換の機会をより一層多く取り扱う必要性も考えられる。これらの「教員と学生」および「学生と学生」のコミュニケーションの質と量についてさらに改善していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できる実技演習、教材研究を通して、保育者に必要な感性の表現を養える授業を展開した。また、子どもの発達段階に即した豊かな感性を育む表現の重要性について教授し、修得した技能や知識を実際の保育の現場で応用できるように指導した。履修学生の全員が標準的レベル以上に達した点からも、「造形表現の楽しさや面白さ、保育者に必要な感性の育成」について一定の成果を上げることができたと考える。その成果に加えて、「子どもの発達段階に即した豊かな感性を育む表現の重要性」「修得した技能・知識の実際の保育現場での応用力」について、現状に満足することなく学生達を保育者として導くことができるよう到来年度も支援、指導していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現」の指導法（音楽・身体）	2	前期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は幼稚園教諭免許・保育士資格の取得に必要な科目である。しかし、資格取得に必要な科目であると回答した学生は61.9%、関心のある内容であるという回答は31.0%であった。1年次の様子から音楽に対する苦手意識が大きい学生が多くいるように見受けられたため、初回授業時に「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を読み込むだけでなく、DVDを用いて実際に日頃の生活の中にみられる子どもの発達段階に即した表現を見ることにより、科目の意義を理解できるようにした。また、適宜グループワークを取り入れ、表現することの面白さや重要性を実際に体験しながらお互いに意見を述べることで学びを深めていくことができるよう心がけた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均77.8点である（最高90点、最低62点、S-7人、A-25人、B-9人、C-9人、D-0人）。到達度自己評価の「全般的評価」では平均値4.1、「知識・理解」では平均値4.1、「技能・表現」では平均値4.2となっており、98%の学生が肯定的な評価であることから、目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。 保育の「表現」領域に関する内容となっており、内容的に妥当であるとする。しかし、「関心のある内容」と回答していたのは30%であることから、学生の意欲を引き出すことができるよう工夫していきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	単元ごとにグループ発表を行うことで学生が自主的に考え、他者の表現も受け止めながら一緒に作りあげていくよう実践的な内容を取り入れた。また、単元によっては講義を交えて行うことで子どもの表現活動について理解を深められるよう配慮した。 最終授業時には模擬保育も取り入れ、全体としてグループ活動が多くあった中、学習量の評価では全く取り組んでこなかった学生が約30%みられた。自由記述においても具体的に取り組んだ内容を自由記述に書いている学生が複数みられる中、「思いつかなかった」「することがなかった」という回答があり、発表に向けての取り組み方に差がみられた。グループ内で取り組む人が偏ることがないように適切な声掛けや工夫していく必要があると考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	学生の取り組み状況から、本科目の目標はやや達成できたと考える。今後も授業内容の見直しや改善を行いながら質の向上を目指していきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもと絵本	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	現代の管理社会や教育環境の中で、自分のアイデンティティを確認するためには、何か架空の世界、絵本文学というものが非常に重要な意味をもってくる。そういったときに絵本や児童文学には人間が生きていくための原動力となる探求心や想像力、感動する心を育てるエキスを満ちた児童文化を基軸に据えて、文学を通して、児童文化が幼少期からの内的世界でどのような形で発展していくか、もう一度自分の生きてきた道をフィードバックすることにより、将来の保育職に就くために求められる大切な知識、意義を理解させるべく、基礎能力を養うことに力を注いだ。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的には学生も、実習体験と合わせてこの講義を知徳しているようである。この科目の内容が自身の課題とオーバーラップしたものと思われる。大体85パーセントぐらいに伸びている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、良かったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生たちの集中は途切れることなく反応はかなり良好であった。改善策としては、一人ひとりが自由発言できる課題を設定して実演発表スタイルの講義にすれば、今に増して、学生の自信が倍増すると思われるので、次回からはその点を工夫してみたいと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況の総括的評価としては、85パーセントは達成しているので、さらなる向上を目指して課題点を克服したいと思っている。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものためのピアノⅠ	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は幼稚園教諭免許取得に必要な科目であるため、受講動機では「②資格取得に必要である」が86.4%となっている。 個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員5名を含めた6名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。グループで偏りがでないよう入学前までの学生のこれまでの音楽経験をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。 また、担当教員のレッスン以外に、科目担当者のもとで1人2回ずつ中間発表・グループレッスンの機会を設けることで人前で弾くことに慣れるだけでなく、それぞれ感想を伝え合うことで課題に対する理解を深めるようにしている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は72.2点（S-1人、A-10人、B-10人、C-1人、D-9人）であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.3と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値も4.5であったことから、各自の成績にばらつきはあるものの課題に対する意識は高く、個々のペースで保育者として必要な技術を身につけるために着実に課題へ取り組んでいると考える。 以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、約97%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。本科目では、保育者として求められるピアノの力を身につけるためにまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としている。授業の課題以外に取り組んだ学習として「興味のある曲を弾いてピアノに触れる機会を多くした」「技術が落ちないように毎日練習した」等の回答があり、意欲的に取り組む様子がみられた。 以上のことにより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、中間発表・グループレッスンの機会を設けることで科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけてきた。 中間発表・グループレッスンについては、これまで「人前で弾くことが苦痛なのでなくしてほしい」といった意見があったが、「緊張したけど、人前で弾く練習ができてよかった」と自由記述にあることから、より丁寧にローテーションの意図を説明してきたのが伝わっていると考えられる。 一方で、自由記述において、担当教員の学生に対する態度や曲の提示の仕方について意見があった。ピアノの経験がない学生が増えている現状を踏まえ、教員間で改めて学生が意欲的に課題に取り組むことができるような声掛けや授業の進め方について話し合い心がけていきたい。 また、今回課題修了に至らず単位を取得できなかった学生へは、後期の「子どものためのピアノⅡ」に向けて継続的な練習に取り組むことで技術の向上を目指し単位取得への声掛けを行っている。学生の希望に応じて授業外でも質問やレッスンを受け付けることで、学生の技術向上をサポートできるよう対応していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。 今後は、上記の課題を改善していきながら授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものうたと伴奏法Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許取得を望む学生が受講している。 個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員5名を含め6名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。 グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「子どものためのピアノ」での進捗をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、担当教員のレッスン以外に、科目担当者のもとで1人2回ずつ中間発表・グループレッスンの機会を設けている。人前で弾くことに慣れるだけでなく、実践に即した形(保育者(弾き手)・子ども役(歌い手))で発表を行いそれぞれ感想を伝え合うことで、保育者に必要なピアノ演奏技術について理解を深められるよう心がけた。 また、実習や就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内で相談にのり対応していくようにしている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は70.82点であった。（S-1人、A-10人、B-5人、C-4人、D-19人）本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。 しかし、「到達度自己評価」の総括的評価の平均値は4.1となっており、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。 また、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.3であったことから、単位取得ができなかった学生が多くいる状況ではあるが、現時点における各自の目標は達成した上で保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで着実に取り組んでいると考えられる。 以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。 DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、昨年度までは全ての学生が「わりにそうだと思う」以上を回答していたが、今年度は2名の学生が「少しそうではないと思う」と感じている。昨年度よりもピアノの経験がない学生が増えているため、今後は個々の学生に合った適切な技術をより明確に伝えていけるよう工夫していく必要があると考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけていきたい。 自由記述において「見てもらう時間が少なかった」という記述が1名あったため、今後は学生のレッスン時間がきちんと確保できるよう改善していきたい。 また、学習量の評価において、授業に向けての準備(練習)が1回という回答が複数みられた。本科目は個人レッスンの形で課題を進めていくため授業を欠席すると課題が進まないだけでなく、授業外での日々の練習が重要となるため今後は必要性について丁寧に伝えていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、今後の授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は95.9点（S-28人、A-2人）である。受講しているすべての学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていた。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したという意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（選択必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、子どもの遊びについて楽しく学びを深めていくことができたという意見が見られた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートにまとめたという意見が見られた。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、鉄棒やマット運動の練習を行っている学生が多くいたが、図書館やインターネットを利用した学生がほぼいなかった。遊びの種類や安全管理等を調べるような課題を設定し、利用を促したい
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。また、授業後に内容をノートにまとめるようにしているが、授業中の休憩時間にメモを取れるように改善を行いたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの発達理解とあそび	2	前期	選択		45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。 オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えた上で、実際の実践指導案の作成を指導した。また、0，1，2歳児の発達と遊びについては、学生の理解を深めるために別途講義を行った。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えらえる。 授業評価の中に提出物についての指摘があるが、提出物は初回オリエンテーション時に資料を配布し具体的に説明している。それを最終授業前に再度、教員及び学生共に確認しているところを指摘されたと考えられるが、基本的には変わっていないことが理解できるように、今後伝えていきたい。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		やや達成された	達成された		達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価は83.8点（最高点96点、最低点60点）である。 本科目は、学生の主体性が特に求められる。同時に、保育者としてのスキルを高めていくための思考力や判断力も求められる。授業の振り返りレポートや子どもの発達の状況を踏まえて作成する指導計画などは基本的に授業内で作成することができるよう時間を設けているが、時間内に作成が終わらなければ課題になる。多くの学生は時間内にほぼ作成できているが。個人によってそれに要する時間に差があり、未提出のままとなる学生も見られた。作成が進まない学生の状況理解をしていきたい。学生は授業に向けて予習または復習を随時行っており、配布資料を活用するなど、授業が講義時間のみではなく各自の学習につながっていると考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状（必修）、保育士資格（選択）の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。 DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていた。 また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。 以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。「到達度自己評価」に関しては、全員が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており、学生の満足度は高いと考えられる。しかしながら、授業の質的評価において、（１）（３）に「少しそうでないと思う」を選択している学生が複数名いる。（１）に関しては、授業内で評価の観点も伝えているが、これからも意識していきたい。（３）については、科目の展開の仕方がオムニバスであるものの、それぞれが関連しあっているため、両方の授業を理解することが求められる。より、教員間の連携を深めていきたい。 計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いた。遠隔授業を行う期間もあり、例年行っている学生同士の学びあいの時間を確保することができなかったことが悔やまれる。 今回、記述の中に、あそび実践に関しての教員の指導についての指摘があったが、内容は「子どもたちに伝えるように自分達にも伝えてほしい」という主訴であった。本講座は、保育者を養成するための科目である。授業は学生が遊びのレパートリーを増やすことを目的としているため、保育現場と全く同じように進めることは難しい。その意図を伝えきれていないことが要因であると考えられるため、改善をはかりたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。 担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないかとと思う。 今回出てきた課題点を次年度改善できるようにしたい。

リフレクションカード 2023年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども文化	1	前期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。実際に保育科資料室等にある子ども文化財を用いて遊び方を体験し、またそれを使ってお互いに発表し合うことで手作りの保育教材の必要性を理解し、自分なりの教材作成へと進める計画であった。 ・子ども文化財が幼い子どもの発達に与える影響について講義で伝え、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる保育教材を作成するとともに、それを保育現場に持ち込んで実践できるように留意しながら授業を行った。 ・まずは担当教員が子ども文化財を用いて演じて見せ、それを参考に「自分の教材制作、遊び方の工夫」ができるように心がけて授業を行った。 ・最終回の授業では、実習や保育現場での実践力が身につくように、状況に配慮しながら手作りした保育教材の発表会を行い、学生同士の作品を見ていろいろな視点に気づけるように意図しながら講評をしていった。 ・対面での発表会では学生同士の交流ができるように心がけながら、お互いに演じ方についての意見交換を促していった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された			達成された		達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・様々な子ども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの保育教材を作るとともに、他者の前で発表することができていた。 ・特に「認定絵本土」の取得を目指す学生は、絵本等に関する内容について積極的に学ぼうとする態度が見られた。 ・完全に対面授業になったため、作成途中の作品をお互いに見せ合い、それぞれの良いところを見つけて刺激があったり、手伝ったりすることができていた。 ・トータルの成績評価は、89.3点（±5.5）と高得点であった。Aクラス89.5点（±5.5）、Bクラス89.1点（±4.0）とクラスごとのばらつきも少なかった。 ・ほとんどの学生が期日に遅れることなく、インターネットや本等を参考にして丁寧に保育教材を仕上げ、発表することができており、前向きに授業に向き合うことができていた。 ・発表会では、保育教材を用いてみんなの前で演じ、評価点、改善点などを話し合うことで自信をつけ、新たな課題を見つけて次に生かそうとする意欲が感じられた。 ・制作や発表に不慣れな学生にとっては、対面授業での学生同士のやり取りや協力があつたことが励みになり、制作や発表に取り組むことができたように思う。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」の科目に位置付けられており、必修の科目である。受講生のほとんどは保育現場に就職することを目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。 ・DPに関しても、子ども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、他者の作品や発表の様子を見て刺激を受け、学びを深める学生が多かった。 ・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・課題の作成や発表が苦手な学生が数名いたが、対面授業の中で友だちに助けられながら制作や発表準備を進めることができていた。 ・モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる保育教材の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れ、学生同士の協力体制も意識的に作りながら、やり取りを重視して指導することを心掛けたい。 ・人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、制作が得意な学生やコミュニケーション力の高い学生が中心となって、協力し合える雰囲気のできたために、最低限度の個別対応で進めることができた。早期に苦手な学生を把握したうえで学生間の協力も促しながら、現場に出た時に必要であることを理解させ、モチベーションを担保しながら授業ができるように心掛けたい。加えて、自分から主体的に教材作成に取り組む意欲が育つように留意しながら、ある程度の具体例を示したり、部分的に援助したり細やかな配慮も行っていく。 ・実習や現場で活用できる子ども文化財（保育教材）を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。 ・次年度には、保育現場で楽しい活動ができることを重視し、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、学生同士の交流を図りながら進められるように工夫していきたい。 ・他の演習科目での制作課題と内容が重複しないように情報共有しながら、課題を提示していく。